

令和 7 年度 岡山学芸館高等学校 選抜 1 期入試【1 月 24 日】 解答解説 (数学)

1

【正解】 ① 11 ② 7 ③  $-7x+6y$  ④  $-12a^2b$  ⑤  $-9-2\sqrt{2}$  ⑥  $(x=)2\pm\sqrt{7}$

⑦  $(n=)20$  ⑧  $(a=)\frac{1}{2}$  ⑨  $\frac{8}{3}\pi$  (cm) ⑩  $\frac{5}{12}$

【解説】

⑥ 解の公式から,  $x = \frac{-(-4) \pm \sqrt{(-4)^2 - 4 \times 1 \times (-3)}}{2 \times 1} = \frac{4 \pm \sqrt{28}}{2} = 2 \pm \sqrt{7}$

⑦  $\sqrt{45n} = \sqrt{3^2 \times 5 \times n} = 3\sqrt{5n}$  より, この値が自然数となる  $n$  は,  $n = 5 \times 1^2, 5 \times 2^2, \dots$  だから, 2 番目に小さい値は,  $n = 5 \times 2^2 = 20$

⑧  $y = ax^2$  に  $x = -2$  を代入すると,  $y = 4a$ ,  $x = 6$  を代入すると,  $y = 36a$  変化の割合は,  $\frac{36a - 4a}{6 - (-2)} = 4a$  これが 1 次関数の変化の割合の 2 と等しいから,  $4a = 2$ ,  $a = \frac{1}{2}$

⑨ おうぎ形 OAB の中心角を  $x^\circ$  とすると,  $\pi \times 6^2 \times \frac{x}{360} = 8\pi$ ,  $x = 80$  よって, 弧 AB の長さは,  $2\pi \times 6 \times \frac{80}{360} = \frac{8}{3}\pi$  (cm)

⑩ 大小 2 つのさいころの目の出方は 36 通り。  $a+b$  が素数となる  $a$  と  $b$  の値の組は,  $(a, b) = (1, 1), (1, 2), (1, 4), (1, 6), (2, 1), (2, 3), (2, 5), (3, 2), (3, 4), (4, 1), (4, 3), (5, 2), (5, 6), (6, 1), (6, 5)$  の 15 通りである。  
よって, 求める確率は,  $\frac{15}{36} = \frac{5}{12}$

2

【正解】 ① 8.25(秒) ② イ ③ (a) 7(人) (b) 8(人)

【解説】

① 3 年 1 組の生徒の人数は 32 人だから, 記録の中央値は小さい方から 16 番目と 17 番目の値の平均値である。記録が 8.0 秒未満の生徒は,  $4+7+4=15$ (人), 記録が 8.5 秒未満の生徒は,  $4+7+4+3=18$ (人)だから, 中央値は 8.0 秒以上 8.5 秒未満の階級にふくまれている。よって, その階級値は,  $(8.0+8.5) \div 2 = 8.25$ (秒)

② 3 年 1 組の記録の最小値は 6.5 秒以上 7.0 秒未満, 最大値は 9.5 秒以上 10.0 秒未満である。また, 第 1 四分位数は, 記録の小さい方から 8 番目と 9 番目の値の平均値だから, 7.0 秒以上 7.5 秒未満の階級にあり, 第 2 四分位数(中央値)は, ①より, 8.0 秒以上 8.5 秒未満の階級にあり, 第 3 四分位数は, 記録の小さい方から 24 番目と 25 番目の値の平均値だから, 9.0 秒以上 9.5 秒未満の階級にある。したがって, イの箱ひげ図が最も適している。

③ 3 年 2 組の生徒の人数は 33 人だから, 記録の中央値は小さい方から 17 番目の値である。記録が 8.0 秒未満の生徒は,  $2+3+5=10$ (人)で, 記録が 8.0 秒以上 9.0 秒未満の生徒は,  $33 - (10+5+3) = 15$ (人)だから, 8.0 秒以上 8.5 秒未満の階級の人数が 7 人以上の場合に中央値がこの階級にふくまれる。ただし, 8 人以上のときは 8.5 秒以上 9.0 秒未満の階級の人数が 7 人以下となり, 中央値と最頻値が同じ階級にあり, 会話文の内容に反する。

よって, (a)8.0 秒以上 8.5 秒未満の階級は 7 人で, (b)8.5 秒以上 9.0 秒未満の階級は 8 人である。

3

【正解】 ① ウ ② 50 ③ 1(分)36(秒)

【解説】

① 例えば, 温まり度が 60000 とすると,  $x=40$  のとき  $y=1500$ ,  $x=60$  のとき  $y=1000$ ,  $x=75$  のとき  $y=800$ , ... のように,  $xy=60000$  で一定だから,  $x$  と  $y$  の関係は反比例である。よって,  $x$  と  $y$  の関係を表しているグラフはウである。

② 温まり度が 45000 より,  $x$  と  $y$  の関係の式は  $y = \frac{45000}{x}$  である。 $y=500$  のとき  $500 = \frac{45000}{x}$  より,  $x=90$ ,  $y=900$  のとき  $900 = \frac{45000}{x}$  より,  $x=50$  よって,  $x$  の変域は  $50 \leq x \leq 90$

③ 温める力(ワット数)×時間(秒)が同じだから, 500W で温める時間を  $x$  秒とすると, 1 分 20 秒=80 秒より,  $600 \times 80 = 500x$  これを解くと,  $x=96$ (秒) よって, 500W で温めるときの時間は, 96 秒だから, 1 分 36 秒

4

【正解】 ① イ, ウ ②  $12\sqrt{14}$ (cm<sup>3</sup>) ③  $\frac{33}{2}$ (cm)

【解説】

① ア 底面は正方形 BCDE より, BE//CD となる。よって, 正しくない。

イ 辺 AE と交わる辺は, 辺 AD, 辺 AB, 辺 AC, 辺 BE, 辺 DE の 5 本あり, 残る辺 BC, 辺 CD がねじれの位置にある。よって, 正しい。

ウ BE//CD より, 辺 BE と面 ACD は平行である。よって, 正しい。

エ A から辺 BC に垂線をひき, 交点を M, A から面 BCDE に垂線をひき, 交点を H とすると,  $\triangle AMH$  は,  $\angle AHM = 90^\circ$  だから,  $\angle AMH = 90^\circ$  ではない。よって, 正しくない。

② 三角錐 F-BCD の底面積は,  $\triangle BCD = \frac{1}{2} \times 6^2 = 18$ (cm<sup>2</sup>) 点 A, F から底面に垂線をひき, 交点をそれぞれ H, I とすると, FI//AH より, FI : AH = BF : BA = (12-4) : 12 = 2 : 3 だから,  $FI = \frac{2}{3}AH = 2\sqrt{14}$ (cm)

したがって, 三角錐 F-BCD の体積は,  $\frac{1}{3} \times 18 \times 2\sqrt{14} = 12\sqrt{14}$ (cm<sup>3</sup>)

③ 点 B から点 P, Q を通って, 点 E まで結んだ線のうち, 最も長さが短くなるのは, 右の図の展開図の一部において, B, P, Q, E が一直線上に並ぶときである。五角形 ABCDE は辺 CD の垂直二等分線を対称の軸とする線対称な図形だから, BE//CD

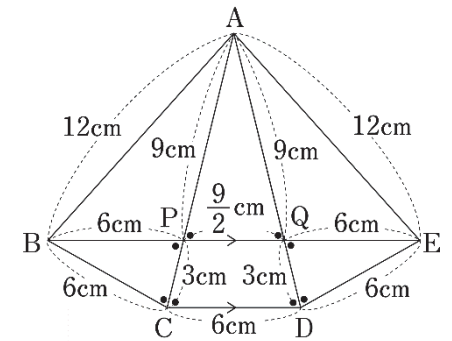
よって,  $\angle APQ = \angle ACD$  より,  $\triangle APQ \sim \triangle ACD$ ...①

また,  $\angle BCP = \angle ACD$ ,  $\angle BPC = \angle APQ = \angle ACD = \angle ADC$  だから,  $\triangle BCP \sim \triangle ACD$ ...②

②より,  $BC : AC = CP : CD$ ,  $6 : 12 = CP : 6$   $CP = 3$ (cm)

①より,  $AP : AC = PQ : CD$ ,  $9 : 12 = PQ : 6$ ,  $PQ = \frac{9}{2}$ (cm)

したがって,  $BP + PQ + QE = 6 + \frac{9}{2} + 6 = \frac{33}{2}$ (cm)



5

【正解】 ①(ア) (4) (イ) (11) (ウ) (5) (エ) (14)

②(1)(オ)  $\frac{15}{2}$  (2)(カ) 16 (キ) 9 (ク)  $\frac{27}{2}$  (3)(ケ)  $\frac{7}{4}$

【解説】

②(1) 線分 AC と線分 BD との交点を G とする。  $AC \perp BD$  より, 線分 AC は線分 BD を 2 等分するから,  $BG = DG$  よって,  $\triangle ABG \cong \triangle ADG$  であり,  $\triangle ABC \cong \triangle ADC$  だから,  $AD = AB = 6$ cm,  $DC = BC = 8$ cm である。

$\triangle FAD \sim \triangle ABC$  より,  $FD : AC = AD : BC$ ,  $FD : 10 = 6 : 8$  より,  $FD = \frac{15}{2}$ (cm)

(2)  $BC : AD = 8 : 6 = 4 : 3$  よって,  $\triangle ABC$  と  $\triangle FAD$  の面積比は,  $4^2 : 3^2 = 16 : 9$  で,  $\triangle ABC = \frac{1}{2} \times 6 \times 8 = 24$ (cm<sup>2</sup>)より,

$\triangle FAD = 24 \times \frac{9}{16} = \frac{27}{2}$ (cm<sup>2</sup>)

(3)  $\triangle ABC = 24$ cm<sup>2</sup> より,  $\frac{1}{2} \times 10 \times BG = 24$ ,  $BG = \frac{24}{5}$ (cm)だから,  $BF = \frac{24}{5} \times 2 - \frac{15}{2} = \frac{21}{10}$ (cm)

AE//DC より,  $\triangle BEF \sim \triangle BCD$  だから,  $BF : BD = EF : CD$ ,  $\frac{21}{10} : \frac{48}{5} = EF : 8$ ,  $EF = \frac{21}{10} \times 8 \times \frac{5}{48} = \frac{7}{4}$ (cm)